



水際で守る 日本の未来

報道発表

令和5年2月15日
横浜税関

横浜税関における密輸摘発状況(令和4年)

**不正薬物の摘発件数、3年連続で400件超え
大麻の押収量は史上2番目を記録**

1. 不正薬物^(※1)

不正薬物全体の摘発件数は419件(前年比13%減、全国の約4割)と、3年連続で400件を超え、押収量^(※2) ^(※3)は約389kg(前年比26%減、全国の約3割)と、3年連続で300kgを超えた。摘発件数、押収量共に依然として深刻な状況となっている。

外国から到着する国際郵便物の約8割を通関している川崎外郵出張所における摘発件数は407件(前年比12%減、全国の約4割)となっている。

(※1)覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。

(※2)錠剤型薬物を除く。(※3)重量等未確定につき含まれないものがある。以下、個々の押収量についても同様。

(1) 覚醒剤

摘発件数は33件(前年比約2.5倍)と増加し、押収量は約56kg(前年比88%減)と減少した。

(2) 大麻

・大麻草の摘発件数は21件(前年比58%減)と減少し、押収量は約302kg(前年比105倍)と大幅に増加した。

・大麻樹脂等(大麻リキッド等の大麻製品を含む。以下同じ。)は、摘発件数は14件(前年比68%減)、押収量は約1kg(前年比97%減)と共に減少した。

(3) 麻薬

摘発件数は81件(前年比43%減)と減少し、押収量は錠剤型が約3万9千錠(前年比46%減)、その他の形状が約24kg(前年比1.7倍)となり、錠剤以外の押収量が増加した。

(4) 指定薬物

摘発件数は267件(前年比16%増)と増加し、押収量は約5kg(前年比47%減)と減少した。

2. その他

・アメリカ来国際郵便物から拳銃部品を摘発した。

・中国来国際郵便物から商標権を侵害するバッグ、帽子等を摘発した。

密輸情報フリーダイヤル **0120-461-961**
E-mail : yokohama-mitsuyu110@customs.go.jp

連絡・問合せ先

横浜税関 調査部 特別審理官(第1担当)

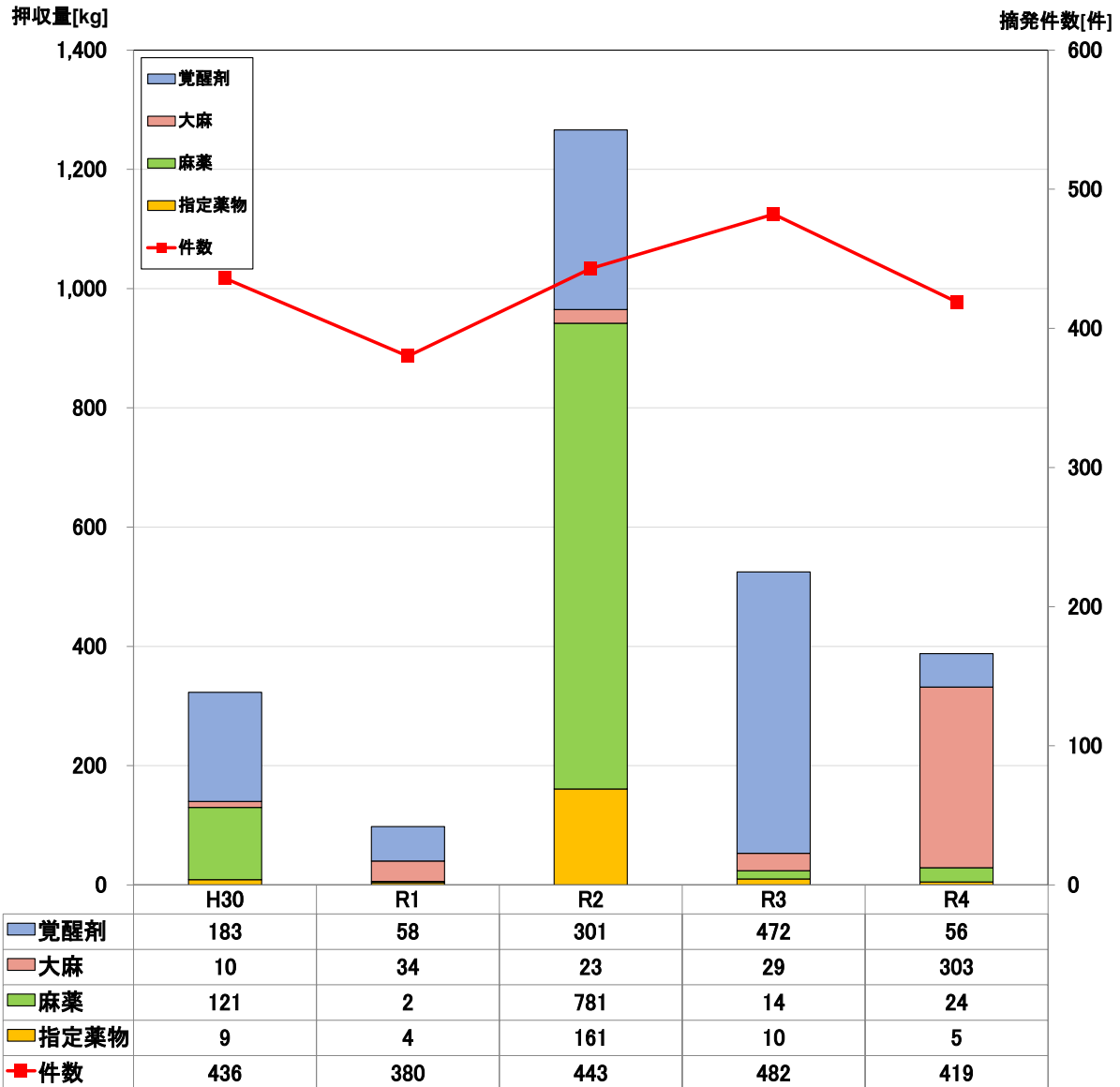
TEL045-212-6080

横浜税関における密輸摘発状況（令和4年）

不正薬物

不正薬物全体の摘発件数は419件（前年比13%減）となり、3年連続で400件を超え、全国の約4割を占めた。押収量は約389kg（前年比26%減）となり、3年連続で300kgを超え、全国の押収量の約3割を占めた。

横浜税関における不正薬物の摘発件数と押収量の推移



- (注) 1. 令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。
 2. 押収量に錠剤型薬物は含まない。
 3. 端数処理のため数値が合わないことがある。
 4. 令和4年の数値は速報値である。

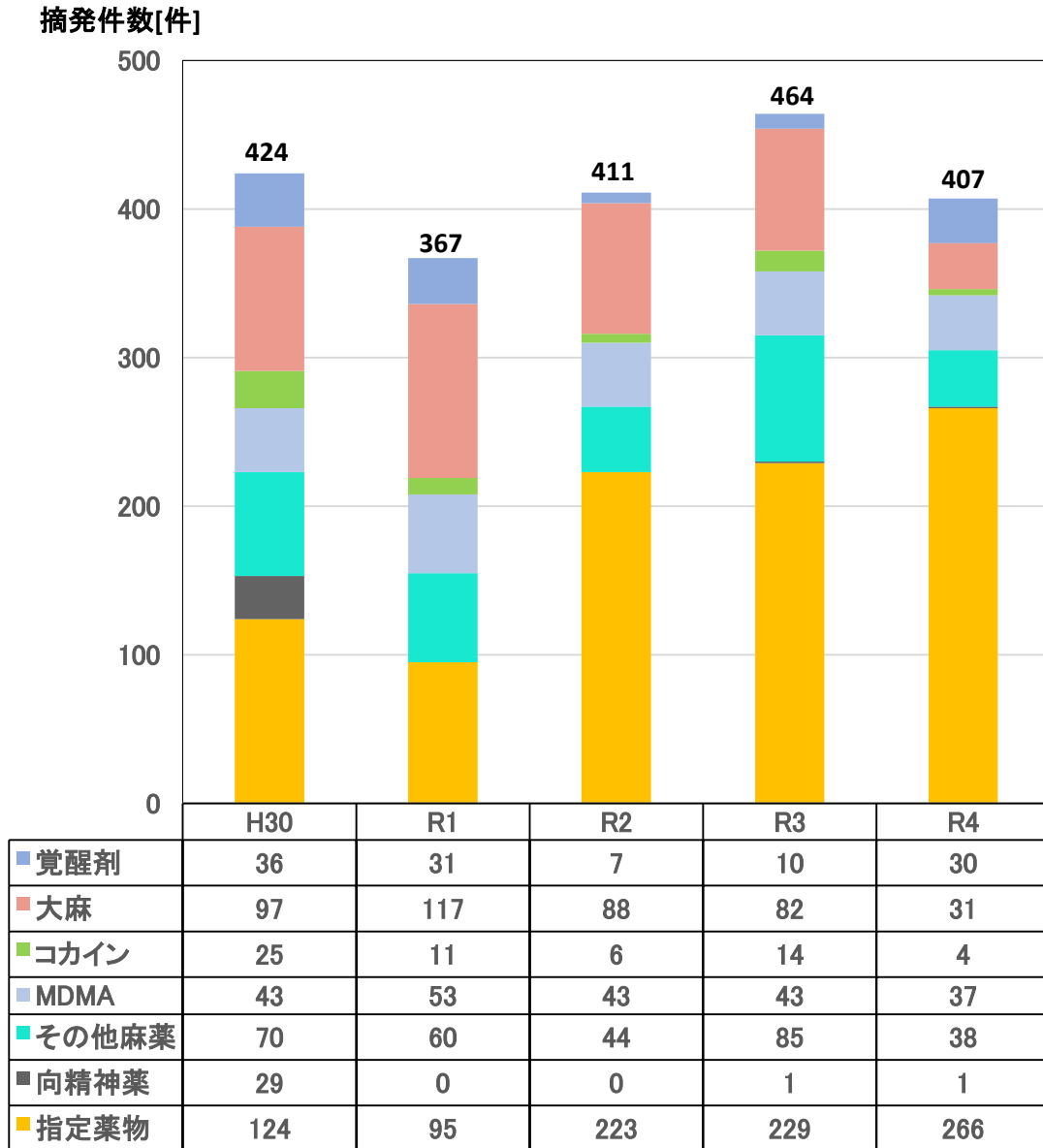
仕出国の動向

令和4年は、上位4カ国（台湾、アメリカ、オランダ及びスロバキア）からの摘発が全体の約72%を占めた。また、令和3年と比較し、台湾からの摘発が約2倍、タイからの摘発が4.5倍となっている（資料3参照）。

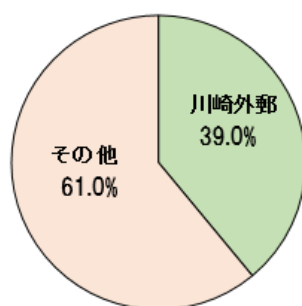
国際郵便物からの摘発

外国から到着する国際郵便物の約8割を通関している川崎外郵出張所の国際郵便物からの摘発件数は407件（前年比12%減）となり、全国の国際郵便物からの摘発件数の約56%を占めた。

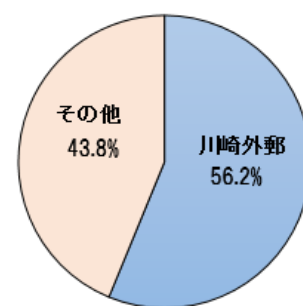
川崎外郵における不正薬物の摘発件数



川崎外郵出張所の摘発状況（構成比）



全国の摘発件数



全国の国際郵便物からの摘発件数

主な摘発事例

【事例1】

アメリカから到着した国際郵便物に隠匿された覚醒剤約682グラムを摘発した。

(令和4年2月・川崎外郵出張所)



【事例2】

アメリカから到着した国際郵便物(掃除機)に隠匿された大麻約283グラムを摘発した。

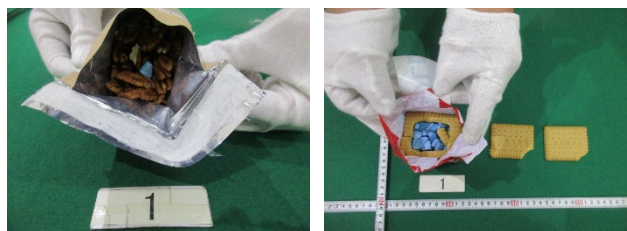
(令和4年6月・川崎外郵出張所)



【事例3】

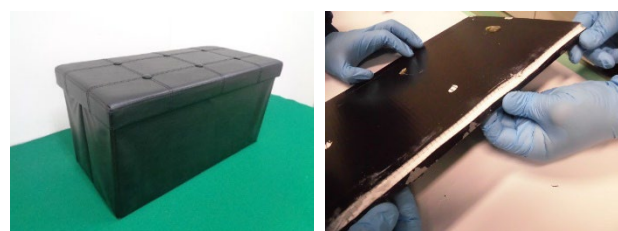
ドイツから到着した国際郵便物(菓子袋等)に隠匿されたMDMA約2千錠を摘発した。

(令和4年1月、2月・川崎外郵出張所)



【事例4】

スイスから到着した国際郵便物(組立式オットマン)に隠匿されたケタミン約3キログラムを摘発した。(令和4年6月・川崎外郵出張所)



【事例5】

台湾から到着した国際郵便物に隠匿された指定薬物(亜硝酸イソブチル)計約31gを摘発した。

(令和4年2月、11月・川崎外郵出張所)



【事例6】

香港から到着した国際郵便物に隠匿された指定薬物(ビスフルオロモダフィニル)約698gを摘発した。(令和4年1月・川崎外郵出張所)



【事例7】

中国から到着した国際郵便物に隠匿された商標権を侵害するバッグ、帽子等を摘発した。

(令和4年3月～5月・川崎外郵出張所)



【事例8】

アメリカから到着した国際郵便物に隠匿された拳銃部品を摘発した。

(令和4年2月・川崎外郵出張所)



【資料1】社会悪物品の摘発実績（全国・横浜）

種類	年	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年			前年比	
		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜			横浜	
											対全国比			
覚醒剤	件	169	40	425	31	72	14	95	13	300	33	11%	316%	254%
	kg	1,159	183	2,587	58	811	301	1,014	472	567	56	10%	56%	12%
大麻	件	218	97	242	127	204	99	199	94	148	35	24%	74%	37%
	kg	156	10	82	34	126	23	153	29	431	303	70%	282%	10.6倍
大麻草	件	128	45	110	47	86	42	94	50	55	21	38%	59%	42%
	kg	143	1	61	27	49	8	22	3	315	302	96%	14.5倍	105倍
大麻樹脂等	件	90	52	132	80	118	57	105	44	93	14	15%	89%	32%
	kg	13	9	21	7	76	15	132	26	117	1	1%	89%	3%
麻薬	件	225	143	209	125	167	95	233	143	232	81	35%	100%	57%
	kg	161	121	656	2	822	781	61	14	131	24	19%	216%	170%
	千錠	32	20	61	1	90	18	133	73	78	39	50%	59%	54%
コカイン	件	58	27	52	11	27	8	34	14	28	4	14%	82%	29%
	kg	153	116	638	2	820	781	14	0	48	1	2%	331%	211%
MDMA等	件	59	44	67	53	74	43	81	44	96	38	40%	119%	86%
	kg	5	5	0	0	2	0	30	10	46	11	24%	152%	108%
ヘロイン	千錠	32	20	61	1	90	17	130	71	78	39	50%	60%	56%
	件	8	7	5	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-
その他麻薬	kg	1	0	17	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	千錠	100	65	85	59	64	43	118	85	108	39	36%	92%	46%
向精神薬	kg	2	0	0	0	1	0	16	4	37	12	33%	233%	349%
	千錠	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	9%	4%	0%
	件	38	30	6	-	2	1	6	1	16	3	19%	267%	300%
あへん	kg	0	-	-	-	-	-	0	-	0	0	96%	403%	全増
	千錠	26	18	0	-	1	1	1	0	2	-	-	119%	全減
	件	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	全減	-
指定薬物	kg	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	全減	-
	件	221	126	165	97	300	234	302	231	348	267	77%	115%	116%
合計	kg	17	9	14	4	169	161	19	10	17	5	33%	87%	53%
	千錠	871	436	1,047	380	745	443	836	482	1,044	419	40%	125%	87%
	件	1,493	323	3,339	99	1,928	1,267	1,251	525	1,147	389	34%	92%	74%
(参考)使用回数	万回	58	38	61	1	91	19	134	73	80	39	49%	59%	54%
		4,427	-	10,957	-	5,530	-	3,577	-	2,239	-	-	63%	-

銃砲	件	8	2	-	-	3	1	1	-	5	-	-	500%	-
	丁	10	3	-	-	3	1	1	-	6	-	-	600%	-
うち拳銃	件	7	1	-	-	3	1	1	-	5	-	-	500%	-
	丁	9	2	-	-	3	1	1	-	6	-	-	600%	-
拳銃部品	件	1	-	-	-	-	-	1	1	3	1	33%	300%	100%
	点	1	-	-	-	-	-	1	1	5	2	40%	500%	200%

- (注) 1. 令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。
 2. 税関が摘発した密輸事件のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 3. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
 4. 大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
 5. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
 6. その他麻薬には、ケタミン・LSD等が含まれる。
 7. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、あへん:0.3g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
 8. 端数処理のため数値が合わないことがある。
 9. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 10. 令和4年の数値は速報値である。

【資料2】不正薬物の密輸形態別摘発件数（全国・横浜）

（件）

形態別	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		
		横浜		横浜		横浜		横浜	横浜	前年比	
航空機旅客による密輸	243	3	389	1	70	5	24	—	94	—	—
国際郵便物を利用した密輸	557	426	520	376	567	429	689	471	724	407	86%
商業貨物を利用した密輸	58	6	127	3	108	9	123	11	223	12	109%
航空貨物	46	—	121	—	95	—	108	1	207	—	全減
海上貨物	12	6	6	3	13	9	15	10	16	12	120%
船員等による密輸	13	1	11	—	—	—	—	—	3	—	—
合 計	871	436	1,047	380	745	443	836	482	1,044	419	87%

（注）航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

【資料3】不正薬物の仕出国別摘発件数（横浜）

仕出国等	台湾	アメリカ	オランダ	スロバキア	ドイツ	フランス	ベトナム	イギリス	タイ	カナダ	その他	合計
摘発件数(件)	187	42	38	34	29	13	12	11	9	5	39	419
構成比(%)	45	10	9	8	7	3	3	3	2	1	9	100
前年比(%)	205	64	35	103	67	57	36	44	450	250	71	87

（注）端数処理のため数値が合わないことがある。